

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マナック株式会社 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町92番地

(3) 業種

1699 他に分類されない化学工業製品製造業

(4) 従業員数

160名

(5) 事業所位置図

別紙（平面図）のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、平成26(2014)年度から平成28(2016)年度までの3年間とする。

※ 省エネ法第15条関係中長期計画書の計画期間と同じ。

3 計画の基本的な方向

「マナック環境方針」より

当社は温暖な気候に恵まれた瀬戸内の地に創業し、今日まで企業活動を展開してきました。

この恵まれた環境を守ることも企業の使命であり、環境保全への取り組みを経営の最重要課題の1つと認識し、企業活動を展開します。

1. 環境管理のための体制やシステムを確立し、その運営については定期的な見直しを行うと共に、継続的改善を図ります。
2. 環境保全に関する各種法令・協定等を順守し、環境汚染の予防に努めます。
3. 生産活動等において、大気への排出の抑制と廃棄物の削減に配慮した環境目的・目標を定め、その実現を図ります。
4. 省エネルギーを中心とした温暖化防止への取り組みを進めていきます。
5. 全従業員の環境に対する意識と知識の向上を図るため、積極的な教育活動を展開・推進します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
		平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成25年度
二酸化炭素	燃料の使用		2,870	
	他人から供給された電気の使用		6,602	
		データ不詳		
合 計		(以下同)	9,472	

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
		平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成25年度
二酸化炭素	ソーダ灰等炭酸塩の使用		10	
合 計			10	

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
		平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成25年度
メタン	工場廃水の処理		2	
一酸化二窒素	工場廃水の処理		2	
HFC PFC SF ₆				
合 計			4	

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)	削減目標		目標年度 (平成26年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
総排出量				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位：年度生産量 (エネルギー負荷補正：千 t)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位置量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	9,472	9.404	1,007.2	3.0	9,770	10.00	977.0
非エネルギー起源CO ₂	10				10		
メタン	2				3		
一酸化二窒素	2				2		
フロン類							
総排出量	9,486	9.404	1,008.7	3.0	9,785	10.00	978.5

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み（＝省エネ）

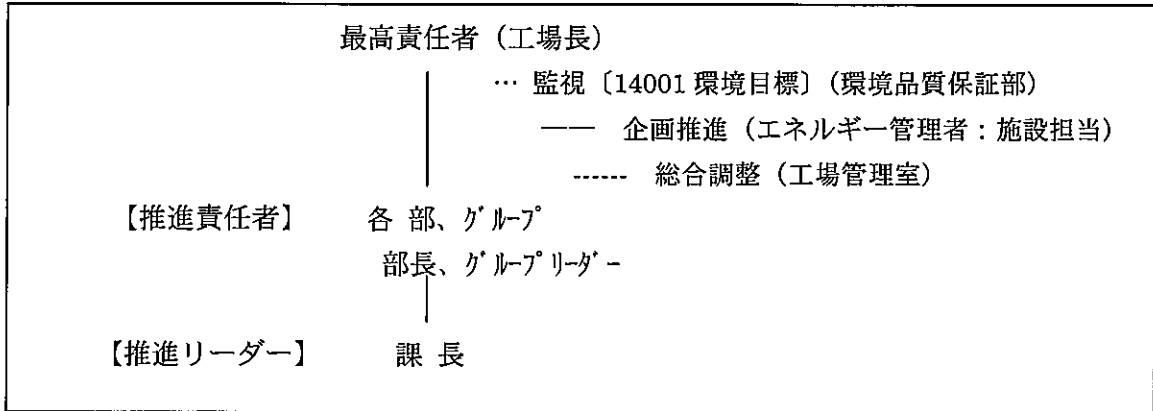
	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料起因CO ₂ 発生の削減	・燃料の使用によるCO ₂ 発生原単位を3%以上改善	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気配管の整備 ・トラップの整備、改善 ・保温断熱強化
2	電気使用によるCO ₂ 発生の削減	・電気の使用によるCO ₂ 発生原単位を3%以上改善	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率機器への更新 ・省エネ型電気機器への更新 ・インバーター制御への変更 ・圧力空気ロスの防止 ・冷暖房温度の適正管理 ・不要電源OFFの徹底 ・遮熱等による冷熱負荷の軽減
		・購入電力の削減	・太陽光発電設備の導入検討

○ 環境に配慮した実践的な取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物発生量の削減	発生計画量の3%削減（各年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・溶剤のリサイクル、リユース ・使用水量低減（工程改善） ・両面コピー、電子文書 ・分別、資源化の徹底 ・容器リユースの推進
2	大気排出の抑制	回収率95%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・工程密閉化の推進 ・温度管理の徹底 ・冷却能力の向上
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・工場周辺の清掃活動（月2回） ・工場緑化の推進 ・クールビズ、ウォームビズの推進

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

施設担当を中心として省エネ対策（＝温室効果ガス削減対策）に取り組み、状況は14001環境目標の進捗としてISO推進委員会で報告される。進捗状況は環境会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的向上を図る。

(3) 計画の公表

- ・事業所に備え付けて閲覧する。